

自然共生と企業の取り組み ②群馬県の戦略と企業の取り組み事例

群馬経済研究所 主席研究員 櫻澤広祥

調査のポイント

身近な自然から段階的に自然共生の理解を深められるよう、今回は群馬の自然環境と生物多様性を取り上げた。本稿では、群馬の自然共生を推進する県の戦略と、県内企業の自然共生の取り組み事例を取り上げる。

要約

- 群馬県は「ぐんまネイチャーポジティブ戦略」を策定している。自然を守り、活かし、回復させていく取り組みのなかで、企業にも自然資本への負荷低減や地域資源の持続的な活用などが求められている。
- 県内では、自然環境の保全と企業活動を両立させる取り組みや、森林資源を循環させながら事業へつなげる取り組みがみられる。
- 自然との共生を意識した取り組みは、人材確保や地域との関係など、企業のさまざまな価値にも波及する可能性がある。

＜取り上げた企業事例＞

- ・ 周辺生態系との共存型工場の取り組み [プラス株式会社前橋工場（前橋市）]
- ・ 森林資源を活用した循環型ビジネスの展開 [有限会社きたもっく（長野原町）]